

新潟港について調べてみよう！

知ってる？
新潟港は西港と東港に分かれているんだ！
それぞれ歴史や役割が違ってるよ！

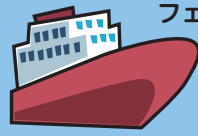


日本海

ジェットfoil

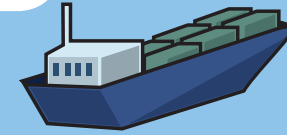


フェリー



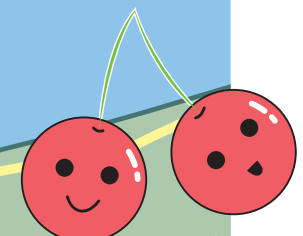
新潟港の背後には、高速道路や
国道、鉄道が整備されており、
海と陸の連絡が取れるよう
になっています。

コンテナ船定期航路



日本海

貨物船 (LNG 船)



へ～え！
西港と東港では、みなとの
役割がちがうんだ。どちら
も僕たちにとって重要なも
のなんだね！

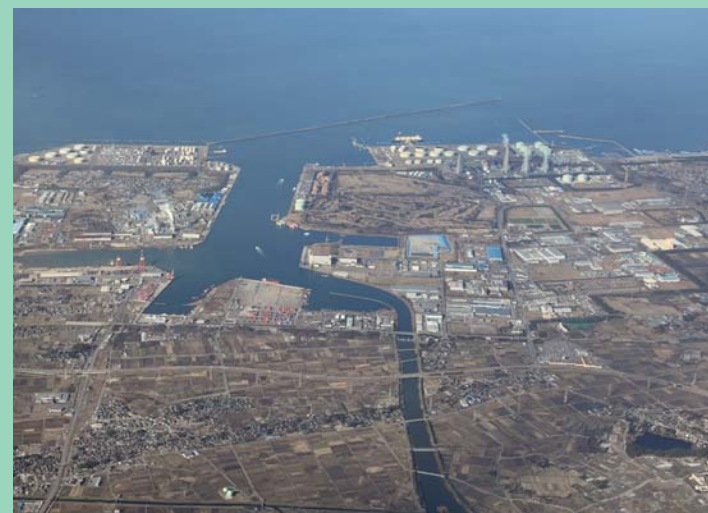


新潟西港



新潟西港は、平安時代の書記に記されているほど歴史の古いみなとです。信濃川の河口部に位置する新潟西港は、人や物が行き交うみなとで、定期フェリーが佐渡島や北海道などと結び、外国の旅客船が寄港できる国際旅客ターミナルも備えています。周囲には新潟みなとトンネルや国際会議場を備えた朱鷺メッセも完成し、たくさんの人が集う「みなとまち新潟」の顔としてますますの発展が期待されています。

新潟東港

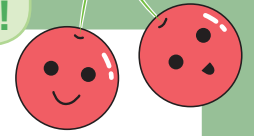


新潟東港は、コンテナ船やタンカー、LNG（液化天然ガス）船など、世界各国からたくさんの貨物船がやって来る物流のみなと。日本海側唯一の中核国際港湾として、日本海側最大規模の国際海上コンテナターミナルなど、たくさんの施設と機能を備えています。また、周囲には火力発電所や、石油を蓄える基地もあり、日本海側最大のエネルギー供給基地としての役割も果たしています。

今ではこんな立派な みなとになったよ!



気がついた事を
メモしよう!



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

新潟東港で取り扱う主な貨物！





LNG（液化天然ガス）

LNGとは天然ガスを-162℃に冷却し、液体にしたエネルギー資源です。火力発電の燃料として使われているほか、都市ガスとしてパイプラインや鉄道貨車、タンクローリーで県外にも運ばれています。

いろいろな貨物があるよ！
どれも僕らの暮らしに欠かせないものなんだよ！









木材チップ

パルプ

製品化された出荷前の紙

▲木材チップを船からおろす作業の様子

木材チップ

チップは木材を細かく砕いたものです。木材チップは全長210m、総トン数4万9000トンもある大型の貨物船で新潟東港に運ばれてきます。木材チップを薬品でほぐし、樹脂を取り除いたものを化学パルプといい、パルプを用いて様々な紙が造られています。




コンテナ

コンテナとは貨物を入れる大きな箱です。形や大きさの違う荷物を一度にたくさん入れて運ぶ事ができます。代表的なコンテナ（20フィート）の大きさは、長さ約6m×高さ約2.6m×幅約2.4mです。新潟東港では日用雑貨品や紙製品を始め、色々な貨物が扱われています。

中身の一例



長靴

ぐんて

ビス

カラーボックス

なるほど！
僕らの暮らしにはとても大切な貨物を扱ってるんだね！




石油タンカー

石油

石油備蓄基地

大切なエネルギー資源の「石油」は、国内では生産される量がごくわずかなため、海外から輸入されています。国際的な問題や自然災害が発生した場合などに対応するため、石油を蓄える基地が国内の重要な場所に設けられています。